

新興感染症パンデミック状況下での 地域医療における薬剤師の役割についての検討研究

申請者氏名 神林 弾

【論文内容の要旨】

地域住民の COVID-19 感染予防、感染対策における薬剤師の役割を明らかにすることを目的とした実践解析調査である。つまり、国際誌 30 報の発表論文調査によって、世界各国の薬剤師の実践活動は COVID-19 に関する顧客への教育について多かったことを示した。さらに、本邦の健康サポート薬局へのサーベイによって、知識・態度・行動 (KAP) 調査を行なった。その結果、十分な情報を持つことが KAP 合計得点と相関が見られたことを提示した。また、愛知県の施設の介護従事者へのサーベイによって、KAP スコアのうち、知識・行動スコアが 20 年以上の勤務経験者で優位に高かったことを示した。

以上、本研究は、本研究は、COVID-19 の発生を受けた世界各国の薬剤師の実践活動として、知識強化とともに感染対策に関する情報提供の重要性を提案したもので、地域住民を支える薬剤師任務遂行において評価された。

【審査結果の要旨】

本研究は、COVID-19 対策において地域住民の健康に関して、予防から治療・介護に至るまで、広くサポートする薬剤師の業務の重要性を明らかにしたものである。加えて、COVID-19 対策において、その他薬事衛生をつかさどることが任務の薬剤師の役割について考察したものである。つまり、未曾有の感染症禍において情報が錯綜しかねない医薬品・食品についての正確な情報を薬剤師が発信することの重要性も併せて提案するものである。

本研究は、薬学的にも有益であり 3 報の国際誌に掲載され、客観的評価も受けている。よって、博士（薬学）の学位を授与するに充分値すると認めた。

令和 5 年 3 月

(主査) 渡邊 泰男

(副査) 石井 功

(副査) 菊池 千草